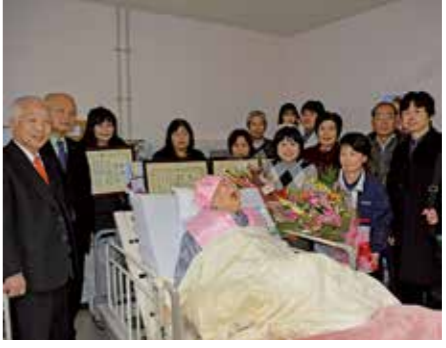


堀川 マサさん  
(山城町大月)



堀川さんは、神主の旦那さまを支えながら林業を営み、男7人、女5人の子どもを育てあげ、孫15人、ひ孫15人に恵まれました。料理が得意で、ちらし寿司や茶わん蒸しなどをよく作り、編み物などの手芸も好きだったそうです。

現在は、市内の特別養護老人ホームに入所されていますが、この日は少し体調を崩され、市内の病院で子どもや孫、施設や病院のスタッフ、県や市の関係者らに囲まれてお祝いされました。これからお元氣でお過ごしください。

交通栄誉賞 緑十字金賞を受賞

大西 登さん  
(池田町マチ)



大西さんは、昭和61年から平成23年の25年間、池田町委嘱の交通指導員として、池田町小学校区の通学路で立哨活動を行うなど、子どもたちの交通事故防止に貢献されました。また、約16年前から続けている交通安全教育指導員として学校、老人会などで交通安全教室を年間100回ほど実施するなど三好市の交通事故防止に尽力されています。今回その功績が称えられ、交通栄誉賞「緑十字金章」を受賞されました。現在も三好交通安全協会出納役と三好地域交通安全活動推進委員協議会長を務めるなどさまざまな方面でご活躍されています。

私たちの大切な 地域医療を守るために

住民・医療者・行政が一体となり、「地域医療」を守っていくため、様々な情報を発信します



東祖谷診療所が 移設しました



東祖谷診療所は、東祖谷郷土文化保存伝習施設(通称:民俗資料館)1階に移設し、12月より診療を再開しています。診療所面積は112.2㎡。

東祖谷地区の医療体制については、平成26年12月より旧・東クリニック跡地にて診療しておりましたが、施設の老朽化(築40年以上経過)により、移設工事が急がれました。

また、診断用X線撮影システムや超音波画像診断装置などの医療設備を新しく整備しました。

現在は、週3回(火・水・金)診療を行っています。診療日には30人〜40人の方々が診察に来院されています。これからも、東西祖谷地区の地域医療を強化・充実していきます。

【お問い合わせ先】  
三好市役所保健医療課  
電話 72-7613

三好市全域で 見守り体制の連携を深めます  
高齢者見守りで 市と生活協同組合とくしま生協が協定



三好市と生活協同組合とくしま生協が1月21日、高齢者が安心して地域で暮らす支えとなるよう「高齢者見守り活動に関する協定」を締結しました。

協定では、生協の職員らが食料品をはじめ生活用品の配達業務の中で気付いた高齢者の異変を市に報告し、適切な支援につなげるというものです。締結後、とくしま生協の梶原理事長からは「三好市の組合員3800世帯から注文を頂いており、協定を機にしっかりと活動を進め配達したものが取り込まれてないかなどアンケートを高くして見守ってほしい」と話され、高齢者に優しいまちづくりの推進に向け、体制の充実と強化が図られました。

市では、三好市管内の徳島新聞専売所(5所)と市内の社会福祉法人(池田博愛会、



三美厚生団、悠久会、山城会、健祥会清盛、市社会福祉協議会)と協定を締結しており、今回で協定締結は12件目になります。

高齢者見守り活動ネットワーク 協力企業を募集します

三好市では、急速に進む少子高齢化や一人暮らしの高齢者世帯などの増加により、家族や地域でのつながりが希薄になりつつある中で、地域から孤立する高齢者が増えています。このような地域において、支援を必要とする方の早期発見および適切な支援を行うため、日頃より高齢者などに関わりのある方々に、日常の見守り活動のご協力をお願いしています。今後も協力していただける事業所を増やし、見守りネットワークの拡充を進めていきます。当事業に賛同し、見守り活動に協力可能な事業所を随時募集しています。

【お問い合わせ先】  
三好市役所長寿・障害福祉課  
電話 72-7612

連載 地域おこし協力隊活動報告 ⑤

英語教室 1周年を迎えて 大西 恵大朗



今年の冬は暖かい日が続いて、祖谷へ向かう道中でもこのまま雪を見ることはないのではないかと思うくらいでしたが、1月下旬の大寒波では市内全域で除雪や水道による断水など被害があり生活に多大な支障を及ぼしました。改めて自然の力と怖さを実感しているところです。

さて、東祖谷での英語教室を始めて1年が経ちました。落合集落以外にも話を聞いた方から頼まれて、名頃や西祖谷でも数回教室を開かせてもらいましたが、地域で外国人の受け入れに興味のある方のために力になれるのはとても嬉しいです。僕から見ても来られていた皆さんの成長が感じられますし、「次はいつですか」と教室を楽しみにして下さっている方の声を聞くという励みになります。

僕の教室にいられている生徒の皆さんは平均60歳を超えていると伝えると、びっくりされますが、授業は読み書きや話したりすることができるようになることには重点を置いていません。例え言葉が



通じなくても自分の伝えたい事、相手が伝えたい事を察する事ができる能力を身に付けられればという内容です。「ここに行きたい」「トイレの場所は？」などの簡単な意思疎通は言語以外でも可能ですし、年齢に関係なく身につけられることだと思います。教室を1年間続けられたのも、来られている生徒の皆さんが訪れた方のために何かしたい、少しでも力になればと考えているからです。

僕自身も皆さんから集落の話や歴史を教えてもらっているのですが、僕も勉強させてもらっているような感じですが、任期も残りわずかですが、残りの時間も皆さんと一緒に過ごせたらと思います。